6月定例会の概要

会期　6月10日～26日までの17日間

一般質問議員　16人

6月17日(水)	6月18日(木)	6月19日(金)	6月22日(月)
新島　雄	岩田　弘彦	長坂　隆司	尾﨑　太郎
菅原　博之	岩井　弘次	多田　純一	谷口　和樹
中本　浩精	奥村　規子	濱口　太史	立谷　誠一
雑賀　光夫	片桐　章浩	堀　龍雄	中村　裕一

会期中の主な動き

■特別委員会の開催
- ●防災・国土強靱化対策特別委員会(6／17)
- ●半島振興・地方創生対策特別委員会(6／18)
- ●人権・少子高齢化問題等対策特別委員会(6／19)
- ●行政改革・基本計画等に関する特別委員会(6／22)

議決結果・意見書等

項　目	件数	概　要	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成27年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(　〃　)	10件	和歌山県高等学校等修学支援対策基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例　等	可決
人事案件(　〃　)	2件	和歌山県人事委員会の委員の選任につき同意を求めるについて　等	同意
その他案件(　〃　)	10件	平成27年度建設事業施行に伴う市町村負担金について　等	可決
請　願	2件	年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願	不採択
		「集団的自衛権」行使を具体化する「平和安全法制」に反対する請願	不採択
意見書	7件	森林整備等の森林吸収源対策の財源確保を求める意見書	可決
		捕鯨とイルカ漁業への妨害や不当な圧力に対する抗議と地域食文化を継承するための措置を求める意見書	可決
		和歌山県の社会資本整備に必要な予算の確保等を求める意見書	可決
		地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書	可決
		認知症への取り組みの充実強化に関する意見書	可決
		農林水産物の輸出促進に向けた施策の拡充を求める意見書	可決
		「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書	否決

地方創生

地方創生に対する知事の思い

問 知事は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の動きを踏まえ、「和歌山県長期人口ビジョン」と「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したが、知事の地方創生に対する思いを聞きたい。

答 人口減少対策が本県にとって最大の課題と認識し、知事就任以来、様々な政策に取り組んできました。県の総合戦略では、「安定した雇用を創出する」、「和歌山県への新しい『人の流れ』を創造する」、「少子化をくい止める」等5つの基本目標を掲げ、それを達成するための具体的な目標と行動指標を明示しています。今後は、断固たる決意を持って着実に推進していきます。市町村においても、これを参考に総合戦略が早期に策定されることを期待しています。

イノベーションによる地方創生

問 中小企業が青色LEDの発明により大企業に成長した例があるが、本県でもそのような発明・発見が常時起きるような環境を創出できないものか。

答 県内企業の新技術の創造を促進するため、先駆的な技術開発や和歌山元気ファンド等の様々な制度を整備し、また産学連携の取組を支援するほか、本年度は特に、工業技術センターに最先端の機器を集中整備しています。その上で、創業を促すべく、地方創生総合戦略に創業支援を位置づけるとともに、その具体策について和歌山県産業技術戦略会議で議論しているところです。

工業技術センターに平成27年度導入予定の機器例

くらし

ペットとの共生

問 紀伊半島大水害時に保護した被災犬の命を守った本県の取組は「命を大切にする和歌山県」との好イメージを全国発信したが、さらに動物殺処分ゼロを目指してほしい。

答 飼い主責任の明確化や地域住民の役割など新たなルールを設け、犬や猫の引き取り数減少や迷惑問題の解消、関係団体等との協働による譲渡事業を展開していきます。市町村、ボランティア、関係団体や地域住民との連携・協働を進め、「動物の命を大切にする心豊かな人づくりと人と動物が共生する潤いのある社会づくり」を推進し、犬・猫の殺処分ゼロを目指します。

自転車の改正道路交通法

問 本年6月1日より自転車の道路交通法が一部改正され、危険な運転を繰り返す人への対策が強化されたが、これに伴う啓発、また悪質な場合の摘発をどのように行うのか。

答 警察としては、従来、関係機関等と連携した小中高校生等を対象とした自転車交通安全教室、登下校時の中高生や高齢者等に対するセーフティーカードを利用した街頭指導活動等、自転車の交通安全活動を積極的に行っていますが、今後とも正しい自転車の乗り方や通行ルールを県民に周知することが重要です。また、指導警告に従わない者、交通事故に直結するような危険または悪質な行為には検挙措置を講じていきます。

道路

道路ネットワークの整備

問 国道371号バイパスを経て国道170号(通称・大阪外環状線)から近畿自動車道へ自動車専用道路で直結させてはどうか。

答 まずは現在実施中の京奈和自動車道や府県間道路の整備を推進するとともに、調査中または調査着手を要望している道路整備の具体化を働きかけていきます。自動車専用道路については、沿道の利用状況や環境への影響、既存道路ネットワークとの整合等、課題は多くありますが、近畿ブロック知事会策定の広域インフラグランドデザインや関西広域連合の広域インフラマップに地域高規格道路の一部として位置づけられていることから、計画の推進、整備の具体化に向けて国土交通省や大阪府等に働きかけていきます。